

高浜1号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表(低サイクル疲労)

資料①

No	日付	資料	ページ等	コメント内容	コメント対応	回答日	完了
1	12月12日	別冊	19	表2. 3-3における蓋用管台の「検査部位」及び「検査内容」には、疲労評価対象部位である上蓋貫通部に係る記載が漏れているので追記すること。 【低サイクル疲労の補足説明資料P 18も同様】	別冊の表2.3-3に「上部蓋の貫通部 漏えい検査」を追記する方針とする。 また、補足説明資料に追記する。 [補足説明資料P.18]		
2	12月12日	補足説明資料	7	評価に用いる過渡回数の設定について、最終的にPLM40と同一の値を用いていることが分かるように記載すること。	PLM40の過渡回数を用いたことを追記する。 [補足説明資料P.7]		
3	12月12日	補足説明資料	-	PLM40とPLM50の評価条件、評価結果等の差異に係る資料を追加すること。	別紙10を追加し記載する。 [補足説明資料 別紙10]		